

日本における現代アートの受容について

香川県文化芸術局 美術コーディネーター 住谷晃一郎

大原美術館、長岡現代美術館、セゾン美術館、草月美術館

第二次世界大戦後、1951年に山本孝によって東京画廊が設立され、1956年には東京画廊にいた志水楠男が独立して南画廊が設立された。東京画廊はルチオ・フォンタナ、イヴ・クライン、カポグロッシなどの展覧会を企画し、南画廊はフォートリエ、サム・フランシス、ジャスパー・ジョーンズ、ルイズ・ネーベルソン、ティンゲリー、クリストなど当時気鋭の作家の個展を開催して、彼らを日本に招いた。これにいち早く反応してコレクションを始めたのが、大原美術館の大原總一郎と藤田慎一郎、長岡現代美術館の駒形十吉(大光相互銀行)、草月流の勅使河原蒼風、西武百貨店の堤清二、そして山村硝子の山村徳太郎であった。山本孝が新潟出身ということもあって、長岡現代美術館は東京画廊、大原美術館は南画廊の志水楠男によってコレクションが充実することになった。草月の勅使河原蒼風は派手なパフォーマンスを催し、来日したジャスパー・ジョーンズに「ウォッチマン」を制作させ、マチューやラウシェンバーグには公開制作をさせ、「ゴールド・スタンダード」を購入した。また堤清二は1975年池袋西武百貨店に西武美術館を開設、「おいしい生活」を唱え、文化戦略として現代アートを推進した。1979年に志水楠男が急逝した後、南画廊の作家は青木治男の南天子画廊、山本進のフジテレビギャラリー(同ギャラリーには、白石正美(⇒後にSCAI THE BATHHOUSEを設立)、大田秀則(⇒後にオオタファインアーツを設立)が在籍)、南画廊にいた佐谷和彦の佐谷画廊(⇒子息の佐谷周吾が後にShugoArtsを設立)などに引き継がれた。またホックニーなどイギリス美術を紹介した西村画廊(小山登美夫(⇒後に小山登美夫ギャラリーを設立)が在籍)が1974年に開廊した。

長岡現代美術館のローゼンクイスト、ウォーホル、大原美術館のフォートリエ、フォンタナ、草月美術館のジャスパー・ジョーンズ、ラウシェンバーグ、セゾン美術館のジャスパー・ジョーンズ、リキテンシュタインなどの名品は、こういった“同時代収集”の産物である。

国立美術館

1952年に国立近代美術館(現在の東京国立近代美術館)が開館し、それまでは展示場ではなかった美術館が作品収集を開始した。1977年には大阪の万博公園に国立国際美術館が開館し、戦後の国内外の現代美術の収集を始めた。

山梨県立美術館と美術館国分寺時代

1978年に山梨県立美術館が開館し、ミレーの「種をまく人」を千澤禎治館長が購入。1枚の絵に億単位の購入費を投じたことで話題となり、入館者が押し寄せて成功し、**一点豪華主義**が喧伝された。景気が上向いたこともあり、この時期からバブルの時期前後まで、各県や市がこぞって美術館を建設し、**美術館国分寺時代**とでも言うべき時代が到来した。各自治体が新設美術館の目玉としたのは、最初は**ルノワール**（熊本県立美術館1976、岐阜県美術館1982、茨城県近代美術館1988）であった。その結果、海外メディアから、「日本の美術館の特色はルノワールの2級品がある」と揶揄された。次いで**モネ**（埼玉県立近代美術館1982、鹿児島市立美術館）で、印象派では人を呼べないことが分かると、今度は猫も杓子も**シャガールとエコール・ド・パリ**（名古屋市美術館1988、高知県立美術館1993）を収集するのがブームとなった。特色付けに苦慮する他の新設美術館はドイツ表現主義（宮城県美術館1981）、ベルギー美術（姫路市立美術館1983）、20世紀アメリカ具象絵画（福島県立美術館1984）、17世紀以降の風景画（静岡県立美術館1986）、素朴派（世田谷美術館1986）、20世紀イタリア美術（ふくやま美術館1988）ラファエル前派（郡山市立美術館1992）などかなり分野を限定した収集を試みたが、開館後は購入予算がカットされ、結果的にまとまった点数にはほど遠く、多くは数点の孤立した中途半端なコレクションで失敗している。

公立美術館による現代アートの収集

1979年に**福岡市美術館**が開館し、公立美術館で初めて**現代アートを収集の柱**とした。これは当時、京都大学の教授であった乾由明の助言を得て学芸員・尾野正晴がミロ、ダリ、フォンタナ、ステラなど現代アートのすぐれたコレクションを成立させている。

1981年開館の富山県立近代美術館（現在の**富山県美術館2017**）は20世紀美術の流れを収集方針とし、朝日新聞の美術担当編集委員だった館長の小川正隆がピカソ、デュシャン、ベーコン、ポロック、ジャスパー・ジョーンズなど質の高い現代アートを収集している。

1984年開館の**いわき市立美術館**は、東京都美術館から館長となった塩見隆之が、1979年に大光相互銀行の破綻により閉館した長岡現代美術館の所蔵品（大光コレクション）をいち早くまとめて購入し、短期間で充実したコレクションを築きあげている。

1984年**滋賀県立近代美術館**が開館したが、これも福岡から移った尾野正晴が初めて**アメリカの現代美術**を収集方針とした。ロスコの作品を9千万円で購入して物議をかもした。既にこの時期、ジャスパー・ジョーンズ、リキテンシュタインは高額で、版画でしか購入できていないが、これ以降、現代アートを収集する美術館にとって、マーク・ロスコ、**フランク・ステラ**、**モーリス・ルイス**の3点セットが3種の神器となった。また、彫刻についてはそれまで、屋外にヘンリー・ムーアを設置するのが定番だったが、この頃になると

ジョージ・シーガル、ルイズ・ネーベルソンが流行した。

またこの時期出て来た**ニュー・ペインティング**が熱狂的に受け入れられた。(北九州市立美術館1974、高知県立美術館1993) シュナーベル、イタリアの3C(クッキ、キア、クレメンテ)、ドイツのバゼリッツ、キーファーなどであるが、**バスキア**を除いては、今日ではほとんど語られることがなくなった。

1988年開館の**高松市美術館**はダークホースとも言うべき存在で、予算も時間も人脈もない無名の美術館であったが、山梨県立美術館から移った住谷晃一郎は、大原美術館の藤田慎一郎館長と京都大学の乾由明教授の助言を受け、**戦後日本の現代美術**をいち早く収集の柱とし、多くの戦後日本の作家の代表作の収集に成功した。また**外国作家は20世紀以降、版画で収集**することとし、これもカタログ・レゾネの表紙を飾る代表作を多く収集している。当時、「開館までに20億の予算で1000点を集める」という目標の新設の美術館が多かった(例えば、和歌山県立近代美術館、広島市現代美術館など)が、どこも予算のある内に目玉となるような高額作品を購入したため、数点買って資金が枯渇。開館後は予算削減で買い足せないという失敗を重ねていた。高松の場合、日本の現代アートに絞ることで継続的な収集が可能になり、その後30年間購入を続けている。

1989年にはみなとみらいに大型館、**横浜美術館**が開館した。長岡現代美術館のダリなどシュールレアリズムの質の高いコレクションをまとめて購入している。

同年、**広島市現代美術館**が開館し、**第二次世界大戦後の国内外の現代美術**の収集方針を打ち出した。併せてヒロシマをテーマにして現代作家に制作委託を行った(こちらに予算が大きく割かれた。)

1989年大日本インキの**川村記念美術館**が開館し、豊富な資金力でロスコ・ルーム、ステラなどカラー・フィールドを中心とした充実したコレクションを広本伸幸(現エムアウト絵画事業部美術専門ディレクター)が収集した。

1992年ベネッセハウス(**直島コンテンポラリーアートミュージアム**)が開館した。これはベネッセホールディングス(旧福武書店)の福武総一郎が父・哲彦が収集していた岡山県出身作家の国吉康雄、坂田一男のうち、坂田一男を売却、カルダーなど現代アートの収集に乗り出した。ジャコメッティ、ジャスパー・ジョーンズ、サイ・トゥオンブリー、ポロック、バスキアなど広範囲で充実したコレクションを有している。

同年、大型館の**愛知県美術館**が開館し、クリムトなどの名品をコレクションしている。

1995年同じく大型館の**東京都現代美術館**が開館し、リキテンシュタインの「ヘア・リボンの少女」(約6億円)が「マンガみたいな絵に6億円」と言われ、物議をかました。エルスワース・ケリー、ホックニーの優品もある。

同年開館した**豊田市美術館**は出色である。岐阜県美術館から移った青木正弘は、100億という豊富な資金力を背景にクリムト、マグリットの優品を収集、国内作家、斎藤義重、李禹煥、若林奮など「ワン・アーティスト、ワン・ルーム」で複数点収集している。

2003年阪神・淡路大震災のあおりを受けて財政事情が悪化した芦屋市立美術博物館の

存続問題が起きた。これは「公立美術館の冬の時代」の到来を象徴する出来事であった。学芸課長だった河崎晃一が論戦を張った。

またこの年、六本木ヒルズ森タワー53階部分に森美術館が開館し、現代美術の大規模な企画展を開催し、現代アートのメッカとなった。

2004年開館の金沢21世紀美術館は京都大学名誉教授の乾由明の監修のもと学芸課長となった長谷川祐子が1980年以降の現代アートの収集を掲げた。最早、この時点で1980年以前の作品では良質のものは得られないと判断したためであろう。当時28歳だったアルゼンチンの作家、レアンドロ・エルリッヒの「スウイミング・プール」は鑑賞者参加型の作品を施設に組み込んだもので、成功を収めた。

旧福岡シティ銀行頭取の四島司が収集した四島コレクションは、モンドリアン、ジャスパー・ジョーンズ、リキテンシュタインなど名品があったが、2004年西日本銀行との合併の際に惜しくも売却された。

公立美術館最後の大型館が2022年開館の大阪中之島美術館である。これは乾由明監修のもと、熊田司（前和歌山県立近代美術館館長）がチーフで収集したコレクションである。山本發次郎コレクションのモディリアーニの「髪をほどいて横たわる裸婦」を19.3億で購入し、物議をかもした。予算総額151億の大型予算でマグリットの「レディ・メイドの花束」や家具など広範囲にわたる現代アートのコレクションを形成している。これらは、2000年～2005年にかけて収集されたが、美術館の建設は長らく凍結されていた。これ以降、バブル経済が弾け、地方の公立美術館は軒並み購入予算ゼロとなり、まともな美術品の購入は事実上凍結されたままである。

結語

戦後、現代アート受容の草創期には、民間の大原美術館、長岡現代美術館、草月美術館、セゾン美術館などが同時代の作家の収集を行うことで大きな成果を上げた。しかし新設の公立美術館が収集するようになると、県立レベルで7000万円以上の動産を購入する場合、議会の議決が必要なこともあり、評価の定まった人気作家の2級品を高額で購入するようになり、しかも開館後は予算が打ち切られ、コレクションが中断されている。そのような中、一早く現代アートの収集に舵を切った美術館が良質のコレクションを成立させているが、草創期の民間の美術館に比べて代表作と言えるような名品があまり収集できていない現状である。

日本における現代アートコレクション

番号	開館年	美術館	収集方針	外国作家	旧コレクション、画廊
1	1930	大原美術館 〒710-8575 岡山県倉敷市中央1-1-15	美術館は生きて成長していくもの	フォートリエ、ピカソ、マチス、ポロック、ジャスパー・ジョーンズ、サム・フランシス、モディリアーニ、フォンタナ、フンデルトワッサー	山村徳太郎（山村硝子）コレクション、南画廊、東京画廊
2	1951	神奈川県立近代美術館 鎌倉館(2016年閉館)	日本の近・現代美術 日本初の公立近代美術館	ロダン、ゴームリー（彫刻） シャガール、マティス（版画）	
3	1952	アーティゾン美術館 〒100-0031 東京都中央区京橋1-7-2 旧ブリヂストン美術館	印象派と20世紀美術を中心とする 近・現代美術	ピカソ、クレー、マチス、ルソー、カンディンスキー、モンドリアン、ポロック、ジャコメッティ、ブラック、デ・クーニング、ロスコ	フォルム画廊；福島繁太郎コレクション（ピカソ「女の顔」）、他
4	1952	国立西洋美術館 〒100-0007 東京都中央台東区上野公園7-7	印象派の絵画およびロダンの彫刻を中心としたフランス近代美術	ブラック、ミロ、エルンスト、デュビュッフェ、ポロック、レジェ、エルバン、サム・フランシス	山村硝子：山村徳太郎コレクション 1966年5月寄贈
5	1952	東京国立近代美術館 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1	近・現代美術 美術館コレクションの開始	ピカソ、ブラック、クレー、ド・スタール、デュビュッフェ、カンディンスキー、アド・ラインハートアンリ・ルソー	盛田良子コレクション （ソニー創業者・盛田昭夫氏妻） 2010年12月寄贈
6	1962	グタイピナコテカ 中之島（大阪市北区宗是町33）	具体美術協会の活動拠点	（関連作家）フォンタナ、カボグロッシ、サム・フランシス、ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ	1970年取り壊し ⇒大阪中之島美術館
7	1963	京都国立近代美術館 〒606-83228344 京都府京都市左京区岡崎円勝寺町26	近・現代美術	ピカソ、マチス、モンドリアン	
8	1964	長岡現代美術館 〒940-0065 新潟県長岡市坂之上町2-1-1	日本初の「現代」美術館	ダリ、マグリット、デルボー、タンギー、エルンスト、クレー、ローゼンクイスト、イヴ・クライン、ベーコン、ウォーホル、リキテンシュタイン	大光コレクション 東京画廊（山本孝）、1979年閉館 ⇒いわき市立美術館、横浜美術館、宮城県美術館、新潟県立近代美術館、大原美術館、高松市美術館
9	1966	出光美術館 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 帝劇ビル9階	出光佐三コレクション	古美術、ルオー、サム・フランシス	出光佐三四女・出光真子（映像作家）は、サム・フランシスと結婚。
10	1970	兵庫県立美術館 〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1	近現代彫刻・版画	ザッキン、ジャコメッツティ、ジョージ・シーガル、ジャスパー・ジョーンズ、ウォーホル、カンディンスキー、ピカソ（版画）	山村コレクション（国内作家）、 東京画廊（松本 武）
11	1972	栃木県立美術館 〒320-0043 栃木県宇都宮市桜4-2-7	イギリス近・現代美術	ダヴィッド・ナッシュ、キキ・スミス、トーマス・ルフソフィー・カル、パトリック・コールフィールド、アンディ・ゴールズワージー	
12	1974	群馬県立近代美術館 〒320-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1	近・現代美術	ムーア、ヘップワース、シシリア、ルイス、マッタ、ジャスパー・ジョーンズ、ウォーホル、カンディンスキー、ピカソ（版画）	
13	1974	北九州市立美術館 〒804-0024 福岡県北九州市畑区西鞆ヶ谷町 21-1	近・現代美術、1980年代 ニューペインティング	バスキア、サロメ、シュナーベル	アキライケダギャラリー
14	1975	池田20世紀美術館 〒414-0052 静岡県伊東市十足 614	20世紀以降の絵画・彫刻で 「人間」をテーマ	ピカソ、マチス、ミロ、ダリ、シャガール、ベーコン、ウォーホル、ホアン・グリズ	池田英一コレクション
15	1977	北海道立近代美術館 〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西 17	バスキン、ガレ	ジュール・バスキン、エミール・ガレ	
16	1977	国立国際美術館 〒530-0005 大阪府大阪市中之島4-2-55	第二次世界大戦以後の 国内外の現代美術	ウォーホル、ラウシェンバーグ、エルンスト、カンディンスキー、キーファー、ステラ、デ・クーニング、デュビュッフェ、フォンタナ、クリスト、ニューマン、リヒター	大橋嘉一（大橋化学工業） コレクション他
17	1978	山梨県立美術館 〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-4-27	ミレーとバルビゾン派 1点豪華主義、美術館国分寺時代の 幕開け	ミレー、コロ、クールベ ミレー「種をまく人」1億600万	飯田画廊
18	1978	ひろしま美術館 〒730-0011 広島県広島市中区基町3-2	フランス印象派、ゴッホ、ピカソ	アンリ・ルソー、モディリアーニ、ピカソ	エドワード・G・ロビンソンコレクション （映画俳優）・日動画廊
18	1979	福岡市美術館 〒810-0051 福岡県福岡市大塚公園1-6	国内外の近・現代美術 公立美術館として初めて 現代美術を収集の柱とする	ミロ、ダリ、シャガール、バスキア、フォンタナ、ロスコ、ステラ、ウォーホル、リキテンシュタイン、フォートリエ、タピエス	旧藩主黒田家資料、東光院仏教美術資料、 松永コレクション（古美術）。
20	1979	原美術館 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-25	現代美術	ウォーホル、ラウシェンバーグ、ジャン＝ミシェル・オトニエル、ポロック、リキテンスタイン	ハラ・アニュアル展
21	1981	セゾン美術館 〒389-0111 長野県佐久郡軽井沢町長倉芹ヶ沢町2140	時代精神の根拠地 西武美術館⇒セゾン美術館 ⇒セゾン現代美術館	カンディンスキー、クレー、ポロック、ロスコ、キーファー、クレメンテ、ステラ、ジャスパー・ジョーンズ、リキテンシュタイン、トゥオンブリー、ティンゲリー、カプーア	堤清二コレクション （セゾングループ会長） 南画廊

22	1981	草月美術館 〒107-0111 東京都港区赤坂7-2-21	第二次大戦後の日本と海外の 現代美術	イサムノグチ、ジャスパー・ジョーンズ、ラウシェンバーク、ティンゲリー、ウォーホル、サム・フランシス、イヴ・タンギー、ルイズ・ネーベルソン	勅使河原蒼風、霞、宏コレクション 南画廊 イサムノグチ作「オバケ」（1952）は、吉井画廊ニューヨーク支店により売却。 （2003）
23	1981	富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町 3-20	20世紀美術の流れ	ピカソ、ミロ、マグリット、デルポ、デュシャン、ダリ、ポロック、エルンスト、ベーコン、ジャスパー・ジョーンズ、ウォーホル、クレイ、リヒター、モーリス・ルイス、ウェッセルマン	小川正隆コレクション 滝口修造コレクション シモン・ゴールドベルグコレクション
24	1981	宮城県美術館 〒980-0861 宮城県青葉区川内元支倉 34-1	ドイツ表現主義	カンディンスキー、クレイ、シーレ	大光コレクション （長岡現代美術館） 須之内コレクション
25	1983	姫路市立美術館 〒670-0012 兵庫県姫路市本町 68-25	ベルギー美術 ベルギー・シャルロワ市と 姉妹都市	ロップス、クノップフ、アンソール、マグリット、デルポ	國富奎三コレクション（西洋美術）
26	1984	いわき市立美術館 〒970-8026 福島県いわき市平字堂根町4-4	同時代性を持つ戦後の美術	ローゼンクイスト、ウォーホル、リキテンシュタイン、ラウシェンバーク、ジャスパー・ジョーンズ、イヴ・クライン、フォンタナ、カステラーニ、トンプリー、モーリス・ルイス、キーフアー	大光コレクション （長岡現代美術館）の最大の収蔵先 東京画廊
27	1984	福島県立美術館 〒960-8003 福島県福島市森合字西養山 1	20世紀アメリカ具象絵画	アンドリュー・ワイエス、 ベン・シャーン	
28	1984	滋賀県立近代美術館 〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1	戦後アメリカの現代美術	ロスコ、ウォーホル、サム・フランシス、ステラ、ピカソ、ジャスパー・ジョーンズ、ラウシェンバーク、クリフォード・スタイル、モーリス・ルイス	
29	1986	静岡県立美術館 〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田 53-2	17世紀以降の山水画、風景画、 現代の美術／ロダン館	モーリス・ルイス、ジョアン・ミッチェル、キーフアー、イサムノグチ、ドナルド・ジャッド	
30	1986	世田谷美術館 〒157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-2	ナイーフ（素朴派）の収集	アンリ・ルソー、ボンボワ、メテルリ、ミロ、ホックニー、エルンスト、バスキア	
31	1987	町田市立国際版画美術館 〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1	ヨーロッパ中世から 現代までの版画	ムンク、カンディンスキー、マチス、ルオー、リキテンシュタイン	
32	1988	高松市美術館 〒760-0027 香川県高松市紺屋町 10-4	戦後日本の現代美術・20世紀以降 世界の美術（版画） 戦後日本の現代美術の収集方針 は、日本で初（s59.7.23）	クリスト、マチス、蔡國強、ブルトン、エルンスト、ジャスパー・ジョーンズの「エール缶」など、 版画の代表作を網羅	大光コレクション、田中鉄三郎、大橋嘉一 コレクション、
33	1988	ふくやま美術館 〒720-0067 広島県福山市西町 2-4-3	20世紀イタリア美術	キリコ、バッラ、ポッチョーニ、フォンタナ、ロツン、ポモドーロ	大光コレクション （バッラ、ポッチョーニ）
34	1989	横浜美術館 〒220-0012 神奈川県横浜市みなとみらい 3-4-1	ヨーロッパ近代美術と 日本近代美術、写真	ダリ、マグリット、デルポ、エルンスト、ミロ、イサムノグチ、ピカソ、カンディンスキー、ブラック	大光コレクション （長岡現代美術館：シュールレアリスム関連）
35	1989	広島市現代美術館 〒732-0815 広島県広島市比治山公園 1-1	第二次大戦後の現代美術 ヒロシマと現代美術	ウォーホル、ステラ、ドナルド・ジャッド、シュナーベル、ドゥエン・ハンソン、ジャコメッティ、チャック・クロス、アレックス・カッツ	ヒロシマをテーマに注文制作したので、 それに予算を割かれ、開館当時の作品が多い
36	1990	DIC川村記念美術館 〒285-0078 千葉県佐倉市坂戸 631	近・現代美術	ロスコ、ステラ、ポロック、エルンスト、マグリット、コーネル、アルプ、マレーヴィチ、トンプリー、ウォーホル、アド・ラインハート、ロバート・ライマン、ウェッセルマン、シャガール	川村喜十郎、川村家3代のコレクション 2013年バーネット・ニューマン「アンナの光」売却、103億円
37	1990	徳島県立近代美術館 〒770-8070 徳島県徳島市八万町向寺山	20世紀の人間像	ピカソ、クレイ、パスキン、シーガル、チャドウィック、レジェ、マティス、アパカノヴィッチ、ゴームリー	
38	1992	直島福武美術館財団 （ベネッセハウス） 〒761-3110 香川県香川郡直島町 850-2	コンテンポラリー・アート 現代美術	ジャコメッティ、ウォーホル、ジャスパー・ジョーンズ、ポロック、バスキア、トンプリー、セザール、ステラ、ウォッセルマン、ニーヴェルソン、ラウシェンバーク、シーガル	福武コレクション
39	1992	愛知県美術館 〒461-8525 愛知県名古屋市中区東桜 1-13-2	国内外の20世紀美術	クリムト、エルンスト、オキーフ、キルヒナー、クブカ、クレイ、ウォーホル、ラインハート、モーリス・ルイス、ステラ	
40	1992	郡山市立美術館 〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地 130-2	ラファエル前派、 イギリス近代美術	ロセッティ、バーン＝ジョーンズ	
41	1993	高知県立美術館 〒781-8123 高知県高知市高須353-2	シャガール、ドイツ表現主義、 新表現主義	シャガール、キーフアー、バスキア、リヒター、ミケル・バルセロ、ベヒシュタイン、クレイ、ジョージ・グロス、バゼリッツ	アキライケダギャラリー
42	1994	和歌山県立近代美術館 〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上 1-4-14	現代版画・現代美術	ロスコ、ウェッセルマン、ステラ、ヴァザレリ、マーク・ボイル、クリスト、シンディ・シャーマン、ハップワース、ネーベルソン、カロ、シーガル、フラナガン	

43	1994	宮崎県立美術館 〒880-0031 宮崎県宮崎市船塚 3-210	瑛九に関連した シュールレアリスムの作家	マグリット、マン・レイ、デュシャン、クレー、 マッソン、マッタ、レオノーラ・キャリトン	
44	1995	東京都現代美術館 〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1	内外の現代美術	リキテンシュタイン、ウォーホル、ラウシェンバー グ、デ・クーニング、ホックニー、ウェッセルマ ン、エルスワース・ケリー、ノーランド、キー ファー	リキテンシュタイン「ヘア・リボンの女」 618万ドル、約6億円
45	1995	豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町 8-5-1	20世紀美術とデザイン、 現代美術	クリムト、マグリット、エルンスト、ダリ、アル プ、ブランクーシ、ベーコン、ボイス、パゼリッ ツ、フォンタナ、イヴ・クライン、ヤニス・クネリ ス、ボルタンスキー、エゴン・シーレ	予算総額100億円
46	1997	宇都宮美術館 〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町1077	「地域と美術」 近・現代美術	マグリット、シャガール、クレー、カンディンス キー	マグリット「大家族」(1963) 1996年 6億で購入
47	1997	メナード美術館 〒485-0041 愛知県小牧市小牧 5-250	印象派以降の西洋絵画	ピカソ、カンディンスキー、クレー、エルンスト、 アンソール	野々川大介、美寿子コレクション
48	1999	イサムノグチ庭園美術館 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼字久通3519	イサムノグチ	イサムノグチ	イサムノグチ財団(ニューヨーク)
49	1999	諸橋近代美術館 〒969-2701 耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峰 1093-23	サルバドール・ダリ、 西洋近代絵画	ダリ、キリコ、ミロ、エルンスト	諸橋廷蔵コレクション (ゼビオ創始者)
50	2002	熊本市現代美術館 〒860-0845 熊本県中央区通町2-3	九州で唯一の現代美術館	ジェームス・タレル、マリーナ・アブラモヴィッ チ	
51	2003	西日本シティ銀行 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 1-3-6 (福岡支店内)	戦後現代美術・九州出身作家	モンドリアン、ジャスパー・ジョーンズ、リキテン シュタイン、ベーコン、ヘンリー・ムーア、クリス ト、ニーヴェルソン、コーネル、ポロック(福岡市 美術館寄託)	四島コレクション 東京画廊(松本 武) 西日本銀行と合併時、金目のものは資産整 理された。(2004)
52	2004	金沢21世紀美術館 〒920-8509 石川県金沢市広阪一丁目2-1	1980年以降に制作された 新しい価値観を提案する美術	レアンドロ・エルリッヒ、ダミアン・ハースト、 ジョン・ダグデレン、エルンスト・ネット、ガブリ エル・オロスコ、ヨハン・グリモンブレ、カールス テン・ニコライ	
53	2004	ポーラ美術館 〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285	19世紀以降の西洋絵画	モネ、ルノアール、セザンヌ、ゴッホ、ピカソ	鈴木常司コレクション (ポーラ創業者2代目)
54	2005	長崎県美術館 〒850-0862 長崎県長崎市出島町2番1号	スペイン美術	ダリ、ミロ、ピカソ、タピエス、アントニオ・ロベ ス・ガルシア	須磨コレクション 大光コレクション (長岡現代美術館)
55	2010	三菱一号館美術館 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-6-2	1880年代~1890年代に制作された 美術品、工芸品	ルノアール、オディオン・ルドン	モーリス・ジョワイヤンコレクション・オ ディオン・ルドン ロベール・ド・ドムシー男爵旧蔵
56	2022	大阪中之島美術館 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4	海外の近代絵画、現代美術、版画	モディリアーニ、キリコ、エルンスト、ダリ、マ グリット、アルプ、ポッチョーニ、アルプ、ジャコ メッティ、モホリ=ナギ、タトリン、モーリス・ル イス、ロスコ、ノーランド、ステラ	山本發次郎コレクション、 吉原治良コレクション(具体) 「髪をほどいて横たわる裸婦」(1917) 訳 19.3億 予算総額151億